

2004 年度 委員会活動成果報告

(2 0 0 5 年 3 月 3 1 日作成)

委員会名	空間研究小委員会	主 査 名：西出和彦
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生
設 置 期 間	2004 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築・都市空間に関する研究にあたって、様々な調査方法や分析方法の有効性や可能性について広く他研究分野と比較を行いながら検討する。さらに、各種の空間やそれらに関連する事象を取り上げて、その意味について議論することを目的に、幅広い分野から講師を招き、研究会やシンポジウムを行う。そして、蓄積された活動や議論の成果を出版物として刊行して学会員に広く公表する。	
委員構成 (委員名(所属))	西出和彦(東大), 郷田桃代(電機大), 橋本郁子(千葉工大), 大佛俊泰(東工大), 金子友美(昭和女大), 北川啓介(名古屋工大), 佐野友紀(早大), 恒松良純(秋田高専), 積田洋(電機大), 那須 聖(札幌市高専), 橋本雅好(相山女学園), 日色真帆(愛知淑徳大), 樋村恭一(東大), 松本直司(名工大), 横田隆司(大阪大)	
設置 WG (WG 名: 目的)	出版WG(空間研究小委員会の活動を通して蓄積された議論や資料の刊行企画を行う) シンポジウムWG(年3回の研究会を企画を行う)	
2004 年度予算	204,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>・2004 年度は、4 月に第 55 回研究会「個性を持った人間のふるまいをビジュアルにとらえるー新しい人間行動シュミレーションと空間計画ー」を行い、4 名の専門家を招いたシンポジウムを行った。さらに、10 月には第 56 回研究会「生徒・児童の視点から学校教室空間を再考するー建築基準法「天井高 3m 以上」をめぐるー」を行い、建築家や研究者など 4 名のパネリストによるシンポジウムを開催した。</p>
	委員会 HP アドレス:
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>研究会を通じて建築や都市計画における内部・外部を含めた空間研究に関する新しい研究視点や方法について、研究会や出版物の刊行を通じて広く会員に公表した。</p>

その他評価すべき 事項	
----------------	--